

放射線科 臨床研修プログラム

研修目的

初期研修中に必要な画像診断能力を身につける。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
 - ・画像検査特に放射線検査の正当化が説明できる。
- B. 資質・能力
 - ・典型的画像所見が把握できる。
- C. 基本的診療業務
 - ・画像診断報告書を作成できる。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
 - ・放射線検査による放射線被ばくを把握できる。
 - ・放射線治療の適応を判断できる。
- B. 資質・能力
 - ・IVRの適応を理解できる。
 - ・放射線治療の副作用を理解し説明できる。
 - ・カンファレンスで症例呈示を行える。
- C. 基本的診療業務
 - ・撮像プロトコルを理解する。
 - ・放射線治療患者の治療計画が行える。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

読影レポートの添削。フィードバックすべき内容がある場合には、直接口頭での説明。

週間予定表

	午前		午後	夕方
月	8:30～8:45 カンファ	8:30～12:00 読影	13:00～17:15 読影	
火	8:30～8:45 カンファ	8:30～12:00 読影	13:00～17:15 読影	
水	7:30～8:00 泌尿器カンファ（隔週）	8:30～12:00 読影（IVR）	13:00～17:15 読影	
木	8:30～8:45 カンファ	8:30～12:00 読影	13:00～17:15 読影	
金	8:30～8:45 カンファ	8:30～12:00 読影	13:00～17:15 読影	

指導責任者および指導医

指導責任者： 山田隆之

指導医： 石川陽二郎、松浦智徳、佐藤友美、佐谷望、柳垣聡、李麗

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が学会発表のためのスライド添削、プレゼンテーションの事前確認を行う。